



歳旦

仙臺止鳥奄連

特別
A5
6673
26
早稲田大学図書印





室曆十二年庚辰 仙臺獅子門

止々々居此極心妙ハ福ひよ小
 之此取物ノ頭を擲ハヤ
 強向ハ古女ノくもハ強ハ
 弟ハく花ノ表を脱ハ

福ひよや庭乃 芳角
 柳と糸織里

扇子 洗屋

井柱のあふさや庭もひささ初

繪本 繪也

花ももけさ書そのやひひる形

襦子

小笠

おぼろりや色揃に葵のしりしり

蓋

知昂

はしりしり先服てきりきり

布袴

新柄

平袴や長門のきりきり

袴

青雲

きりきりきりきりきりきり

毫

呂邦

今もも長し百番のきりきり

襦

高此

きりきりのくしりきりきり

小袖

布朴

梅のきりきりきりきり

包

松紙

しりきりきりきりきり

紙

赤里

帳子よきりきりきりきり

引

詩
早末

松林舎

たつ浪や島もひたつるも月日新 其音

浪子に於相寄るまげー年の音

破垣生も鳥もききほり玉は雲 朴静

うり浪いびく時もあり年の流

人の音を勇はむや松うきり 少人 布指

借市よ在去きあがり 五月面

と月雲や大馬殿も玉はとけ 布淵

らん丸よもくくくく 鞠用

今もも世は日けや茶はめ 布洲

おとの音も空ももたへあふ

月も日もあつる所やおこよみ 石巻 昌峰

けの足うくる顔や候乃花

屋敷のきま丸く照り梅のむ 里枝

松立ておれ世なまやたふ舟

鏡に於廣き世界やおけの雲 其雄

詠なうら小舟もありて年暮

りふふふふのふふふふふ

拾りんと

御北なとら并つとふゆふ

ふふふかーふふーふふふのふ

ふふふふふふふふふふ

ふふふ

ふふふふふふふふふふ

ふふふのふふふふふふ

松

掃ふふふ雪也

布朴

ふふ士あ柳ふふ乃市

ふふふ

知昂

掃ふふふふふふふふふふふ

袴

呂邦

玄冥ふひくふふ尾や長ふふ

摺木

芳角

ふりふふふふふふふふ

眞澄

徳也

まふ板やせふふふふふ

白

善之

候つふふふふふふ

ふ四

舟楫

るふふふふふふふ

莖

松紙

候びしる感人の心のくはるか

公

洗紙

卒の尾もゆるがせにぞ葉は漏

抄子

紫紙

飯汁もきりくー果糖や雪ー意

五紙

白紙

よくと紙書其意解のくくは楯の意

叶

黄紙

夢や思ふ月夜の日向ぶこ

切成り名をけしるまひ

あふ孫ととてまより

さるのまほきも

あふ人よ

由りこそあ返くは

はつは月夜の花も

まよいらん

花月巻

芳紙

はつ

月夜のあゆみ

しる

候つさよしも際なれ

全

こころ

